

# 山梨市の都市計画について

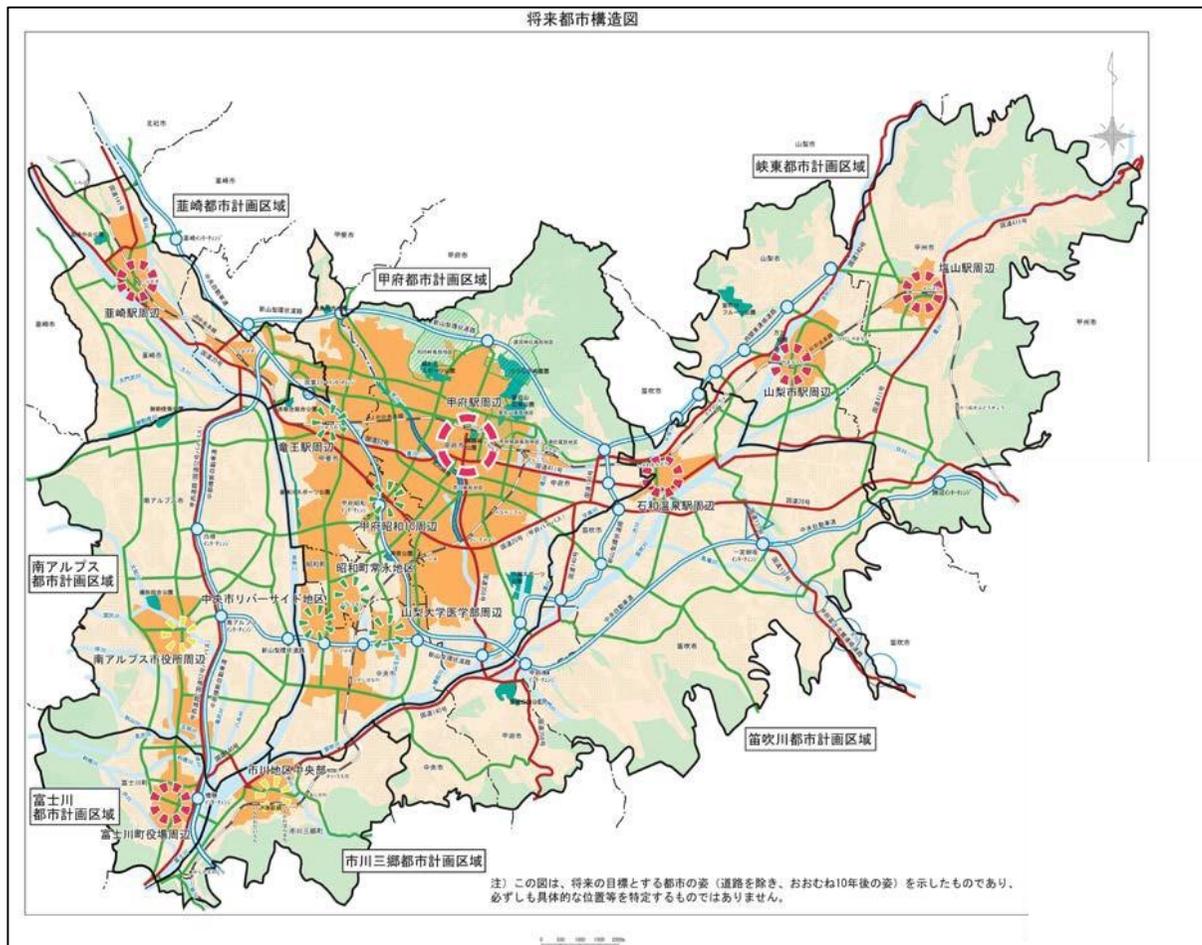
令和4年5月25日(水)

第2回 旧山梨市役所跡地活用検討委員会

# 山梨市都市計画マスタープランの位置付け

## 山梨県都市計画マスタープランにおいて

### 山梨市駅周辺を含む都市機能誘導区域が「地域拠点」の位置付け



#### 「地域拠点」

都市圏域の自立を支え、牽引する拠点として、行政、医療、教育、文化、商業等の多様な都市機能のうち、生活圈や経済活動の広がりに応じ複数の都市機能を有し、不足する機能は地域拠点間同士もしくは広域拠点との連携により互いに補完する拠点。

凡 例	
	広域拠点
	地域拠点
	既存都市機能立地地区
	都市機能補完地区
	市街地
	農業・共生地域
	優良農地
	森林・共生地域
	国有林・県有林・保安林

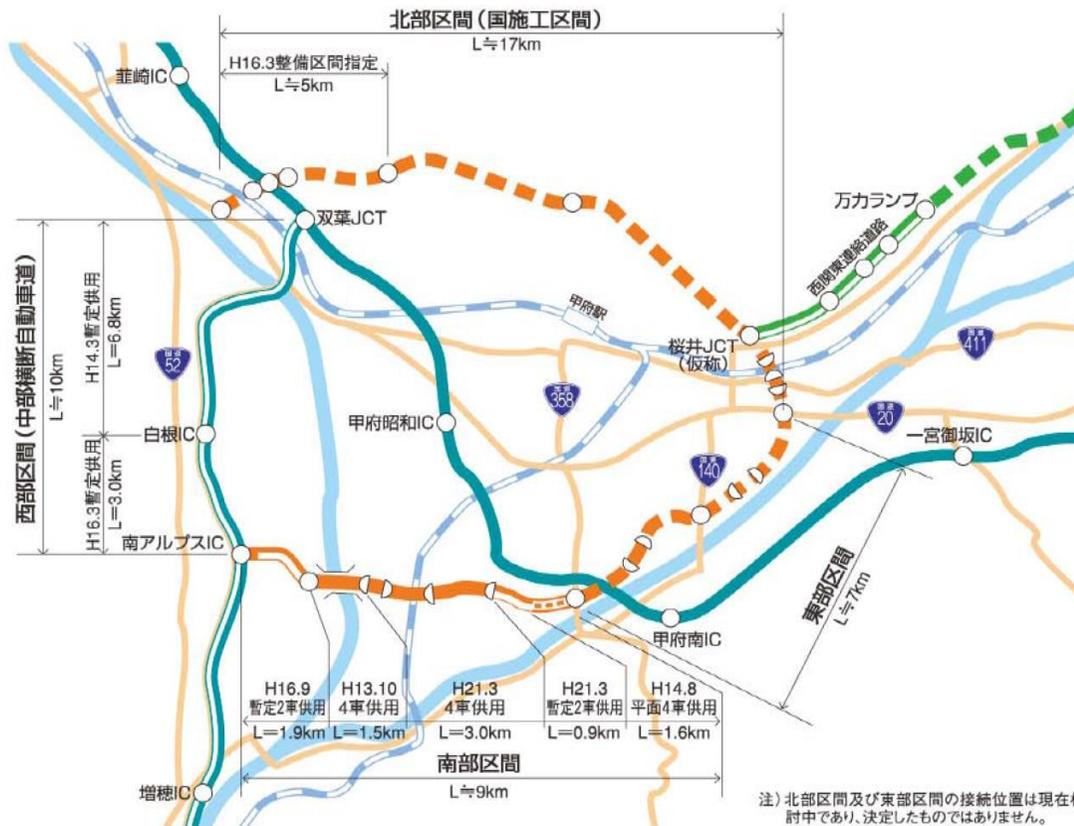
	公園緑地
	風致地区
	自動車専用道路 又は地域高規格道路
	自動車専用道路 又は地域高規格道路(構想)
	主要幹線道路
	幹線道路
	鉄道・駅
	河川
	都市計画区域
	市町村界





# 予想される影響事業（道路）

## ■ 新山梨環状道路＋中部横断自動車道



高規格道路  
約40km/周  
40分程度

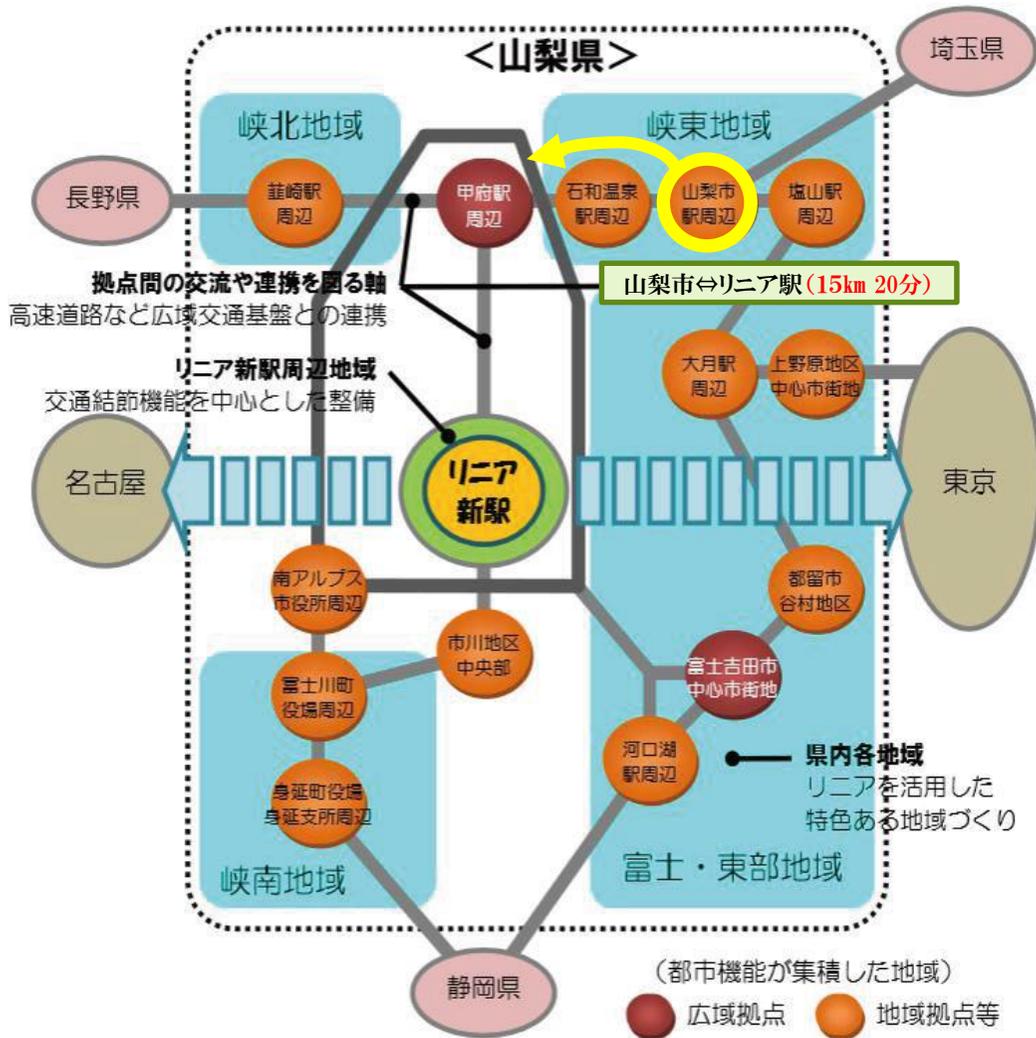
甲府盆地の  
将来道路網  
(~2027年)

山梨市⇄リニア駅 (15km 20分)

# 予想される影響事業（リニア新幹線）

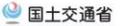


# 山梨市とリニアとの関係について



■ リニア効果 ➡ スーパーメガリージョン効果

## 都市と農村が融合した新しいリージョンの形成



- リニア開業により、三大都市圏同士だけでなく、その他の地域との移動時間を大幅に短縮することで、「都市」でも「農村」でもない、それぞれが融合した全く新しいリージョンが形成される。

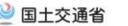
【都市と農村の融合した全く新しいリージョンの形成】

■ リニア各駅から1時間\*で移動可能な範囲  
(※) 中間駅、自動車利用  
その他の駅、鉄道利用

	1時間圏	全国
人口(万人)	7,445	12,709
製造品出荷額(兆円)	188	305

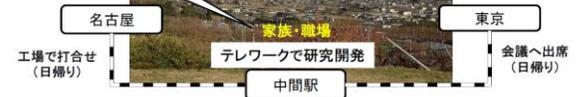


## 新しいビジネススタイル・ライフスタイルの実現



- 高速交通網とIT化(テレワーク等)により、自然豊かな場所でワークライフバランスと、創造的な仕事の生産性向上が実現する可能性が広がる。
- また、シニア層のビジネススタイル・ライフスタイルが多様化することにより、ビジネスにおけるシニア層の活躍の場が広がり、我が国の生産年齢人口の減少を補う可能性。(豊富な経験に基づく「暗黙知」の融合による生産力向上等)
- 都市住民が直接農業に参画する等、都市と農村の新たな融合が生まれる。

- 自然豊かな所で職住近接
- ワークライフバランスの実現
- 仕事の生産性の向上



テレワークの事例：総務省の実証事業(和歌山県白浜町)

- 実証事業に参画したセールス・フォース・ドットコム社では、職住近接により、家族と過ごす時間や地域交流等の時間が、1人月平均6.4時間増加。……ライフが充実。
- さらに、職住近接や、落ち着いた仕事に没頭できる環境によって、生産性が向上(高談件数20%増、契約金額31%増)。

(出典) 総務省「地域IoT実証推進タスクフォース(第3回)」配付資料[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000454762.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000454762.pdf)、飯田市HP

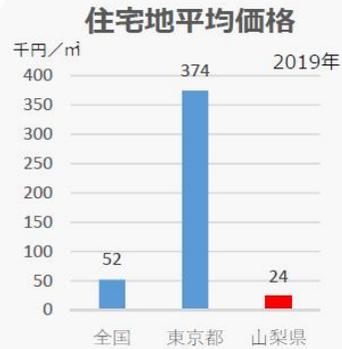
# 新たに予想される影響事業（住み替え、仕事）

## 山梨での生活・ビジネス

豊かに暮らしながら、クリエイティブなビジネスが展開できる場

### 1. 住居・オフィス環境

◇地価や家賃は安く、賃貸住宅の入居もしやすい



出典：国土交通省「都道府県地価調査」



出典：総務省「住宅・土地統計調査」



出典：総務省「住宅・土地統計調査」を基に推計

さらに…

✓ 大都市へアクセスしやすい  
JR中央線特急あずさで  
新宿⇄甲府：約90分

2027年リニア開業後は  
品川⇄甲府：25分！  
甲府⇄名古屋：45分！

✓ 内陸部のため津波の心配がなく、南海トラフ地震等の想定震源地から外れている

### 2. ネットワーク環境

都道府県	F T T H利用可能世帯率 (%)	固定系超高速B B利用可能世帯 (%)	移動系超高速B B利用可能人口率 (%)
東京都	99.9	99.9	99.9
山梨県	99.7	99.7	99.9
全国	98.8	99.5	99.9

✓ NECとの包括連携協定

ローカル5GやAI・IoTなどの未来技術の社会実装により、『近未来の窓口』として新たな価値を創造する拠点づくりを推進

### 3. 充実した余暇 よりクリエイティブなビジネスの原動力に！

◇多様な県産食材とワインとのマリアージュなどの美食



◇豊かな自然を活かしたアクティビティ

